

科目名	国際観光論入門	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			総合政策学部	□ 必修	■ 選択
			学部	□ 必修	□ 選択
英文表記	Introduction to International Tourism Theory	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	ゆざわ まこと	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	湯澤 真	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	観光を学べば世界が、日本が、東北が、そして秋田が見えて来る。今、改めて、観光の持つ意味や意義が注目されています。その一方で、いくつかの課題も指摘されています。この講義の受講により観光の基礎に加え、文化、社会、産業、政治など様々な分野と観光の関係も理解できるようになります。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界、日本、東北、秋田それぞれのつながりが観光を通じて理解できるようになる。</li> <li>観光の意義や課題について理解し、将来的な展望をも示すことができる。</li> </ul>				
授業概要	「国際」と名前がついていますが国内と海外の両方を扱います。観光に関する出来事、最新のトピック、観光の現場で起きていること、さらに東北や秋田の観光のことにも触れながら、観光全体についての理解を深めます。また担当教員の実務経験を踏まえ、観光産業や観光の仕事についても論じます。				
授業計画					
第1回	観光の意味、定義				
第2回	地域と観光 - 観光のプラス面とマイナス面 (大阪関西万博、世界遺産、オーバーツーリズム、入山料) -				
第3回	観光の発展史① - 旅から旅行、そして観光へ				
第4回	観光の発達史② - 国内旅行から海外旅行、インバウンド (訪日外国人旅行) へ				
第5回	持続可能な観光 (サステナブル・ツーリズム) が求められるようになった経緯、「新しい観光」の登場				
第6回	観光資源論① - 国内の観光資源 (世界遺産ほか) -				
第7回	観光資源論② - 海外の観光資源 (世界遺産ほか) -				
第8回	観光資源論③ - 秋田の観光資源には何がある? -				
第9回	観光産業論① - 旅行会社 -				
第10回	観光産業論② - 航空会社・鉄道会社・バス会社 -				
第11回	観光産業論③ - 宿泊施設 (ホテル・旅館) -				
第12回	観光産業論④ - テーマパーク (東京ディズニーリゾート、USJ、新しいテーマパーク) -				
第13回	ホスピタリティ論 - サービスとホスピタリティ -				
第14回	観光業にたずさわる人々とその仕事				
第15回	より良く観光するために - 観光客・旅行者に求められるもの。「旅人力」、「ツーリストシップ」 -				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	<予習>興味のある分野の参考文献・資料、WEBサイトから情報収集をしてみてください (60分程度)。 <復習>授業の「受けっぱなし」、「聞きっぱなし」は本当にもったいないことです。授業で疑問に思ったこと、用語、トピックスなどその日のうちに、振り返り、そして調べてみてください (90分程度)。				
履修条件 受講のルール	授業後に感想質問シートを提出してください (基礎的、初歩的な質問大歓迎です!)。翌週の授業の初めにコメント付きで返却します。授業の冒頭で取り上げて紹介、回答する場合があります。				
テキスト	特定のテキストは使用しません。担当教員が独自の資料を作成し配布します。				
参考文献・資料	中村忠司/王静 編著『新・観光学入門』 晃洋書房 2019年 「トラベルボイス/観光産業ニュース」のホームページ 週刊「観光経済新聞」※図書館1階の新聞コーナーにあります。 「観光庁」のホームページ JNTO (日本政府観光局) のホームページ				

	新聞（秋田魁新報、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、日経新聞）※図書館1階の新聞コーナーにあります。 ※一般の新聞には観光に関わる記事が多く載っており、しかも分かりやすいのでお勧めです。
成績評価の方法	下記評価項目を基にして総合的に判断します。 ① 定期試験（40%）、②授業後の感想質問シートの提出（40%）③取り組み姿勢（20%） ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週火曜3時限目（13：00～14：30） 毎週木曜2時限目（10：40～12：10）
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は旅行会社で25年間、営業と企画それに添乗の業務に携わってきました。その中で多くの観光関係者とも仕事をしてきました。この授業を通して、皆さんには観光の基礎的な知識を得ることに加え、実際の仕事の内容についても理解を深めてほしいと思います。観光や旅行の仕事には高い教養が必要とされますが、世の中のさまざまなことやモノが観光ともつながっていることを実感してもらえましょう。
学生へのメッセージ	「かわいい子には旅をさせよ」ということわざがあります。ある国や地域を、観光や旅行で訪れることは、たとえ目的が遊びや気晴らしであっても自分を成長させてくれます。またその国や地域の文化、歴史、暮らし、人々の考えを知ることにもなります。観光は外の人たちとの交流の第一歩であり、それがお互いの国や地域、人々への理解、そして平和にもつながります。みなさんもこの授業をきっかけに「観光」、「旅行」に、アンテナを高く張って世の中の動きを見つめてみてください。そしてぜひ海外旅行にもチャレンジしてみてください。